

交通安全教室を実施！

5月29日(月)、真岡市役所市民生活課より交通指導員さんをお迎えして「交通安全教室」を行いました。初めに、手遊び歌「グーチョキパーで何作ろう」をみんなで楽しみました。そして、横断歩道をわたるときは右手が大切です。と、みんなで右手を上げる練習をしました。横断歩道を渡るとき右手を上げるのは、運転手さんに自分の存在に気付いてもらえるようにするためだそうです。



続いて紙芝居「鬼の子 太郎」を楽しみました。山奥に住む鬼の子ども太郎は、ある日風に飛ばされ町に来てしまいます。そこでうさぎのめめちゃんに会い信号機について勉強します。“赤色はとまれ、青色は左右を確認して手を上げてわたる、黄色になったらわたらない。”、“歩行者用信号の青色が点滅したら、横断歩道を渡らない” という交通ルールを学ぶお話でした。



もうすぐ6月ということで、傘についてのお話もありました。傘をさすときは人にぶつからないように開いて、両手でしっかりとをもって上に向けてさしてくださいとのことでした。代表として年長組さんが、みんなの前で教えてもらった傘のさしかたを披露してくれました。

さらに指導員さんから一緒に交通安全をお勉強しましょう。とライト君を紹介してもらいました。ライト君の天邪鬼な返答や指導員さんとの見事な掛け合いは子どもたちに大人気。笑い声あふれる楽しい時間になりました。



最後に、交通安全に関するDVDを視聴しました。
そして、まとめとしてみんなで手をあげて横断歩道をわたる練習をしました。

とても楽しくて子どもたちの笑顔が一杯の交通安全教室でした。親子で交通安全について話し合うきっかけになればと思います。真岡市役所市民生活課の職員様ご協力ありがとうございました。